

平成16年度共同利用一覧

◆ 特定共同研究 (A)		(研究期間：平成16年4月1日～平成17年3月31日)			
(地震予知、火山噴火予知計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援)					
課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	Project 名	実施報告書
2004-A-01	深尾良夫	地震研	歌田久司	地球深部の構造とダイナミクス	
2004-A-02	歌田久司	地震研	歌田久司	海底ケーブルネットワークによる地球物理学的研究	
2004-A-03	加藤照之	地震研	加藤照之	GPSによる総合的観測研究	
2004-A-04	飯尾能久	京大防災研	加藤尚之	日本列島周辺域の応力場・ひずみ場に関する研究	
2004-A-05	上嶋 誠	地震研	上嶋 誠	ネットワークMT観測	
2004-A-06	大久保修平	地震研	大久保修平	サブダクション・ゾーン陸側の重力変化の追跡	
2004-A-07	金沢敏彦	地震研	金沢敏彦	海域部総合観測によるプレート境界域におけるひずみ・応力集中機構の解明	
2004-A-08	上嶋 誠	地震研	上嶋 誠	地殻比抵抗構造精密探査	
2004-A-09	岩崎貴哉	地震研	岩崎貴哉	総合集中観測による内陸域の歪・応力蓄積集中過程の解明	
2004-A-10	佐藤比呂志	地震研	佐藤比呂志	反射法地震探査による活断層の地下構造と長期間地殻変動	
2004-A-11	佃 為成	地震研	佃 為成	内陸直下地震の予知	
2004-A-12	茂木 透	北大院理	上嶋 誠	地殻活動に関連する電磁気観測	
2004-A-13	島崎邦彦	地震研	島崎邦彦	古地震	
2004-A-14	瀬瀬一起	地震研	古村孝志	震源過程と強振動生成メカニズムの解明	
2004-A-15	佐藤博樹	大阪大院理	吉田真吾	地殻流体の実態の解明	

2004-A-16	吉田真吾	地震研	吉田真吾	地震発生素過程	
2004-A-17	加藤尚之	地震研	加藤照之	地殻活動予測シミュレーション	
2004-A-18	笠原敬司	防災科研	卜部 卓	全国地震観測データを用いた地殻活動モニタリング手法の高度化	
2004-A-19	海野徳仁	東北大院理	佃 爲成	地殻活動総合データベースの開発	
2004-A-20	藤本博巳	東北大院理	佐野 修	新たな観測・実験技術の開発	
2004-A-21	渡辺秀文	地震研	鍵山恒臣	火山体構造探査	
2004-A-22	渡辺秀文	地震研	渡辺秀文	特定火山集中総合観測	
2004-A-23	梅田康弘	京大防災研	佐藤比呂志	大都市圏地殻構造調査研究・大深度弾性波探査（1）制御震源探査	
2004-A-24	笠原敬司	防災科研	平田 直	大都市圏地殻構造調査研究・大深度弾性波探査（2）自然地震探査	
2004-A-25	伊藤谷生	千葉大理	佐藤比呂志	大都市圏地殻構造調査研究・断層モデル等の構築（1）内陸活断層モデル化の研究	
2004-A-26	瀧澤一起	地震研	瀧澤一起	大都市圏地殻構造調査研究・断層モデル等の構築（2）プレート間地震モデル化の研究	
2004-A-27	井出 哲	東大院理	宮武 隆	大都市圏地殻構造調査研究・断層モデル等の構築（3）動的モデルパラメータの研究	
2004-A-28	山中浩明	東工大総合理工	古村孝志	大都市圏地殻構造調査研究・断層モデル等の構築（4）地下構造モデル化の研究	

平成16年度共同利用一覧

◆ 特定共同研究 (B)		(研究期間：平成16年4月1日－平成17年3月31日)				
(全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)						
課題番号	新規・継続・最終年度の別	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	実施報告書
2002-B-01	継続	翠川三郎	東工大・院総合理工	瀬瀬一起	首都圏強震動ネットワークシステムを利用した震源・地下構造・地震動生成メカニズムに関する研究	
2003-B-01	継続	鎌田浩毅	京大・総合人間	中田節也	活火山における噴火様式の時代的変遷と長期的噴火予知の基礎的研究	
2003-B-02	継続	木股文昭	名大・環境学	大久保修平	神津島・新島周辺域におけるテクトニクスの解明	
2003-B-03	継続	新正裕尚	東京経済大・経営	中井俊一	火成活動から見た西南日本弧の中世テクトニクス	
2003-B-04	継続	河原 純	茨城大・理	山下輝夫	リソスフェアの短波長不均質構造の物理的解釈	
2004-B-01	新規	岩森 光	東大・院理	平田 直	海嶺沈み込み帯の火成作用・テクトニクスと地下構造の解明	

平成16年度共同利用一覧

◆ 一般共同研究		(研究期間：平成16年4月1日－平成17年3月31日)			
(所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究)					
課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	
2004-G-01	佐々木真人	東大・宇宙線研	新谷昌人	微小振動測定装置を用いた量子場の零点振動力の精密測定	
2004-G-02	杉本 健	九大・院理	中田節也	雲仙火山における噴火史の解読研究	
2004-G-03	小林茂樹	九州東海大・工	大久保修平	ENVISAT衛星データを用いた干渉SARによる桜島火山の地殻変動の研究	
2004-G-04	庄司 学	筑波大・機能工学系	小國健二	完全同期型センサー・ネットワークによる構造物損傷の定量的計測手法の開発	
2004-G-05	竹中博士	九大・院理	岩崎貴哉	波形モデリングによる屈折法探査データの再解析	
2004-G-06	石原 靖	横浜市立大・理	山中佳子	日本周辺域における“とても低い”周波地震活動の時空間分布図の作成	
2004-G-07	市村 強	東北大・院工	堀 宗朗	GIS/CADを利用した都市の統合的な地震シミュレーションシステム開発のための基礎研究	
2004-G-08	芝崎文一郎	建築研・国際地震工学センター	岩崎貴哉	地殻の非弾性変形と不均質構造を考慮した内陸大地震発生過程のモデル化	
2004-G-09	川本竜彦	京大院理附属地球熱学研究施設	藤井敏嗣	高温度高圧力条件における水の構造変化	
2004-G-10	藤 浩明	富山大・理	歌田久司	海底地磁気3成分の絶対観測手法の開発とそのデータ解析	
2004-G-11	松本拓也	富山大・理	折橋裕二	ハワイホットスポット・ロイヒ海山活動初期マグマの化学組成分析	
2004-G-12	高橋嘉夫	広島大・院理	藤井敏嗣	マグマへのイオウの溶解度に及ぼす酸化還元状態の変動の影響に関する実験的研究	
2004-G-13	須田直樹	広島大・院理	ト部 卓	2001年以前の低周波微動活動の解明	

2004-G-14	大和田毅	気象庁・ 地磁気観測所	歌田久司	オーバーハウザー磁力計を用いた次世代ベクトル磁力計開発のための調査	
2004-G-15	藤井郁子	気象庁・ 地磁気観測所	歌田久司	地球磁場地域標準モデルの開発－中長波長成分－	
2004-G-16	新正裕尚	東京経済大・ 経営	折橋裕二	スラブ融解メルトとマントルウェッジかんらん岩の反応に伴う元素分別	
2004-G-17	田島文子	広島大・院理	ト部 卓	広島大学におけるリアルタイム地震データ活用システムの構築と巨大地震リアルタイム解析に向けた研究	
2004-G-18	小山順二	北大・院理	大久保修平	GPSと精密重力のくり返し併合観測処理による2003年十勝沖地震に関連する前兆・余効地殻変動の研究	
2004-G-19	里村幹夫	静岡大・理	大久保修平	富士山の活動に伴う重力の時間変化の研究	
2004-G-20	中久喜伴益	広島大・院理	本多 了	沈み込むスラブと背弧側プレートのダイナミクスに関する数値シミュレーション	
2004-G-21	山本順司	京大・院理	中井俊一	ウェッジマントル起源の捕獲岩に含まれる流体から沈み込み帯の物質循環系を探る	
2004-G-22	小川康雄	東工大・ 火山流体研究 センター	上嶋 誠	三宅島火山の可聴周波数帯域電磁探査および比抵抗構造モデリング	
2004-G-23	林 愛明	静岡大・理	島崎邦彦	プレート境界としての富士川河口断層帯の完新世における活動性	
2004-G-24	志知龍一	中部大・工	大久保修平	関東・首都圏地域の重力データ空白域の解消	

平成16年度共同利用一覧

◆ 研究集会		(研究期間：平成16年4月1日～平成17年3月31日)				
(全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会。 開催場所は原則として地震研究所。)						
課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催日	実績報告書
2004-W-01	大坪俊通	通信総合研・鹿島宇宙通信研究センター	大久保修平	地球の「流れ」を見る衛星重力ミッション	H16.11.2-3	
2004-W-02	佐野 修	東大・地震研	佐野 修	地殻応力の絶対量計測に関する研究集会	H16.6月	
2004-W-03	井出 哲	東大・院理	山中佳子	菊地正幸教授記念シンポジウム～次世代の地震学に期待すること	H16.11.1-2	
2004-W-04	家森俊彦	京大・院理	歌田久司	地球磁場観測に関する国際ワークショップ	H16.11.15-17	
2004-W-05	三ヶ田均	海洋科学技センター・深海研究部	金沢敏彦	海底ケーブルの科学的利用ワークショップ	H16.10.30-31	
2004-W-06	荒牧重雄	東京大学	藤井敏嗣	火山ハザードマップの方法論火山ハザードマップの方法論	H16.5.8	
200-W-07	熊澤峰夫	名古屋大・理	佐野 修	地球の能動的モニタリング研究の展開	H16.8月H17.2月のうち2日間	
200-W-08	芝崎文一郎	建築研・国際地震工学センター	加藤尚之	地殻の変形と地震発生過程－破壊、塑性、非線形流動のモデル化－	H16.6月下旬の2日間	
2004-W-09	大村 誠	高知女子大・生活科学部	大久保修平	干渉SARの展開	H16.10月下旬2日間	
2004-W-10	平林順一	東工大・火山流体研究センター	藤井敏嗣	草津白根火山の浅部構造をさぐる	H.16.7月～9月のうち3日間	
2004-W-11	村上英記	高知大学・理	上嶋 誠	地球電磁気学諸問題の探求	H16.8.18-20	
2004-W-12	中田 高	広島大・院文	島崎邦彦	地震規模想定と災害軽減のための新たな活断層研究	H17.1.20	
2004-W-13	小林洋二	筑波大・地球科学系	瀬野徹三	日本列島のテクトニクス－新しい地殻ダイナミクスを目指して－	H16.11月	